

# 都市整備部会 会議録

（出席者） 委 員：11 名  
事 務 局：7 名（戦略部会員：6 名、政策推進課：1 名）  
ア ド バ イ ザ ー：1 名  
ファシリテーター：1 名

（会議の内容）

## 1. はじめに

資料 1 に基づき、第 3 回まちづくり市民会議（第 2 回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

## 2. 今後の会議の進め方と計画書への意見反映について

資料 2 に基づき、第 4 回まちづくり市民会議以降の検討の進め方について事務局から説明しました。

## 3. グループワーク

「都市整備分野の課題」をテーマに、2 グループに分かれて K J 法によるグループワークを行いました。

### ■メンバー

	グループ 1	グループ 2
委員	小久保委員、永田委員、山田委員、石倉委員、鈴木（一）委員、鈴木（孝）委員	夏目委員、杉本委員、鈴木（章）委員、富田委員、根之木委員、駒木アドバイザー
事務局	河合、宮本、内藤、江口（J P 総研）	三竹、彦坂、小谷、牧野

## 4. アドバイザー総括（駒木アドバイザー）

今回の課題は日本全国どこでも共通している。特に今、注目されているのは災害に関してだと思う。渥美半島は、津波の際の避難場所の心配が里山の整備へとつながっていく。市街地の問題として、人や交通の空洞化がある。田原市も地方であるので重要だと思う。

それから、田原ならではのことで、伊勢湾フェリーの問題や半島であること、昔のうなぎの養業など、産業構造が変わることによって、当時は必要だったのに、いらなくなってしまった問題になっている。田原という地域の問題というトピック的な切りかたと、田原ならではの切りかた、この重なる部分で課題を考えていけばいいと思う。

## 5. その他

次回開催日程は、5 月 16 日（水）19：00 からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後 1 週間を期限に、提出をお願いしました。

都市景観

景観が汚い。街並みが汚い

看板、交通安全のほりや政治家のポスターが汚い

建物のデザインがバラバラ

観光客に魅力的な風景ではない

給食センター、汚水処理施設の壁の色や面積

田原の街並み、郊外の街並みがきれいではない

観光

観光資源が豊富であるが、PRが不足している

海の見えない半島。宇津江周辺の海沿いのサザンカの背が高すぎて海が見えない

ワクワク、ドキドキがない

半島のイメージをつくりあげていく。そのイメージに沿って全体を構成していく

商業や観光分野が弱いのかと思うままです。遊ぶところが少ないので、まちなかの発展を望む

迷惑施設

風車が山の中にいきなり建っていてびっくりする

迷惑施設がでさそうで不安(大山ハリコプター、震災がれき処分場)

自然系

災害時に、川の水をせき止める不安

河川沿いの葦など雑草が多い

河川の三面コンクリートの構造的な問題

水に親しむ場所が少ない。もしくは、ない

川のべりの木

構造的な問題

人的問題

肥料による農地や河川、海の汚染

河川にゴミが多く困っている

海岸線のゴミの処理

山の土が採取され、土がむき出しで木や草がない

海岸や河川の美化

渥美半島は歴史博物館は多いが自然博物館がない

地区問題

渥美地区に公園が少ない

山にイノシシが多いので困っている

渥美地区に公園が少ない

コンビニや道の駅があるからいいかも?

農業へのイノシシの被害がある

道路

緑化の花壇やハードのばらつきに多くの効果を

道路にゴミが多くて汚いところが多く

国道や県道からの風景

道路の草が伸びて、安全確認に困っている

公園の樹木が無残に剪定

街路樹の手入れが不足

国道259号線の石神辺りが、夏草で狭く通過しづらい。危険である

機能

国道が片側一車線では渋滞の緩和が難しい

豊橋の南栄辺りの国道259号線が混む

集落内の狭い道路

駅周辺の生活道路の改修

道路に対して求めただけを観光地視点が入っていない

自動車は歩道?車道?

道路のつくりが古い気がする

道路などがでこぼこ。補修が追いつかない

自転車道が寂しい

右折レーンがない

深夜の信号付き交差点で、ただ赤で止まっていることがある

住宅地の生活は道が狭くて災害時の対応が心配

渥美地区に公園が少ない

山にイノシシが多いので困っている

農業へのイノシシの被害がある

人口問題

土地利用が上手くない

農地内の住宅のバラバラ

耕作面積が50aと厳しい

都市計画法による市街化調整区域の建築規制で、人口が減り、コミュニティが崩壊してしまう

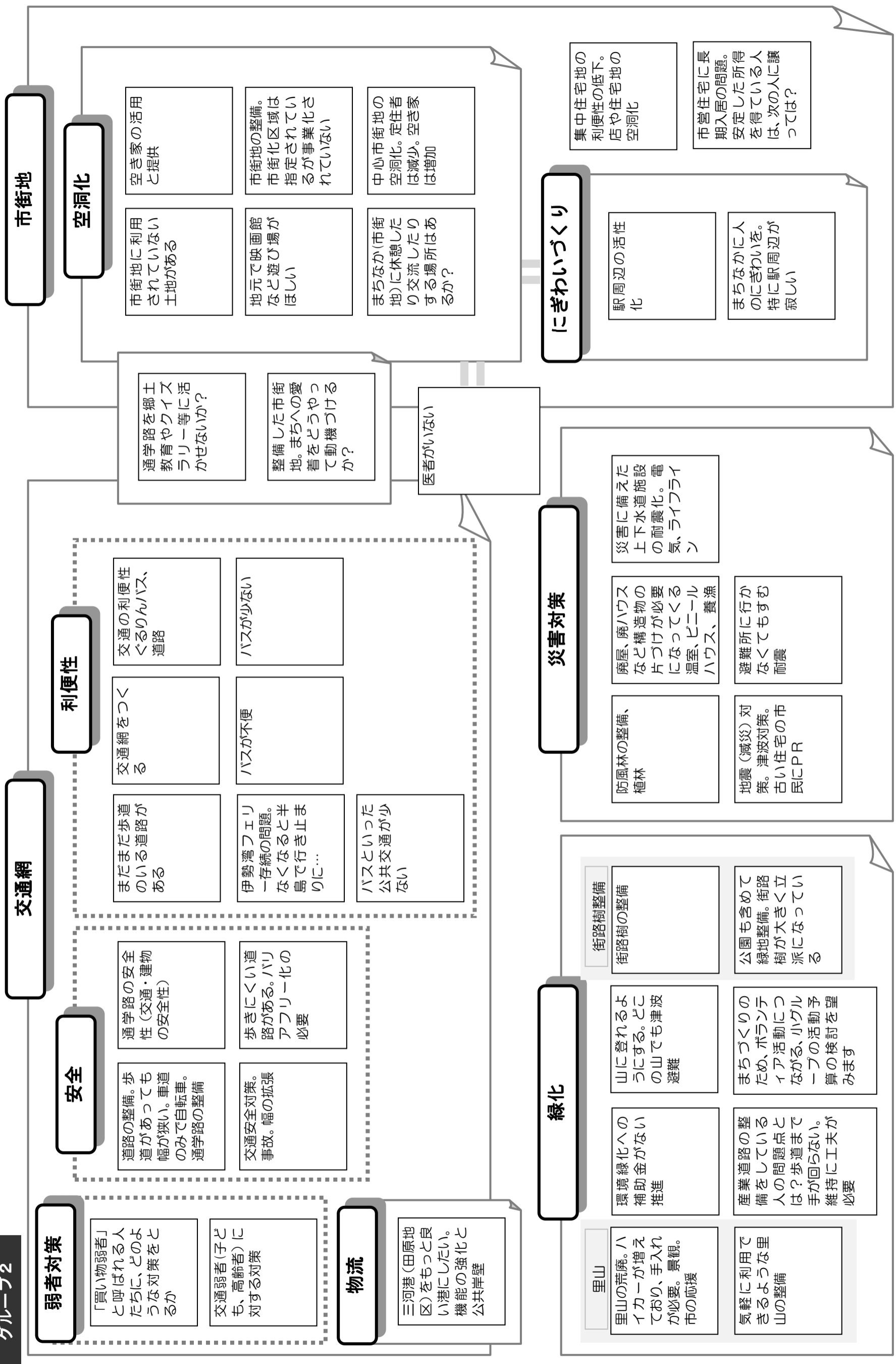
災害関連

掘切の津波対策

津波対策がほとんどない

外部の人が来たときに災害時の避難所などがわからない

グループ2



市街地

空洞化

空き家の活用と提供  
市街地に利用されていない土地がある  
市街地の整備。市街化区域は指定されていないが事業化されていく  
中心市街地の空洞化。定住者は減少。空き家は増加

通学路を郷土教育やクイズラリー等に活かさないか？  
整備した市街地。まちへの愛着をどうやっけて動機つけるか？

医者がいない

交通網

利便性

まだ歩道のいる道がある  
交通網をつくる  
交通の利便性。ぐるりんバス、道路  
伊勢湾フェリー。一存続の問題。なくなると半島で行き止まりに...  
バスが不便  
バスが少ない  
バスと違った公共交通が少ない

安全

道路の整備。歩道が狭い。車道のみで自転車。通学路の整備  
通学路の安全性(交通・建物の安全性)  
交通安全対策。事故。幅の拡張  
歩きにくい道。路がある。バリアフリー化の必要

弱者対策

「買い物弱者」と呼ばれる人たちに、どのような対策をとるか  
交通弱者(子ども、高齢者)に対する対策

物流

三河港(田原地区)をもっと良い港にしたい。機能の強化と公共岸壁

緑化

里山の荒廃。ハイカーが増え、手入れが必要。景観。市の応援  
環境緑化への補助金がない  
山に登れるようにする。どこかの山でも津波避難  
公園も含めて緑地整備。街路樹が大きくなる

災害対策

防風林の整備、植林  
廃屋、廃ハウスなど構造物の片づけが必要になってくる  
災害に備えた上下水道施設の耐震化。電気、ライブライン  
地震(減災)対策。津波対策。古い住宅の市民にPR  
避難所に行かなくても耐震

にぎわいづくり

駅周辺の活性化  
まちなかに人のにぎわいを。特に駅周辺が寂しい

集中住宅地の利便性の低下。店や住宅地の空洞化

市営住宅に長期入居の問題。安定した所得を得ている人は、次の人に譲っては？

